

長編ドキュメンタリー/カラー/123分

©2003年度公開作品

製作:「朋の時間」製作委員会

配給:「朋の時間」上映委員会



# 朋の時間～母たちの季節～

人は人と出会い学びあい  
大きくなっていく  
人は人の中に生きて輝く  
与えられた身体を精一杯  
使って生きることが  
どんなに誇り高く美しいか  
朋のみんなは  
教えてくれる

[http://www.motherbird.net/~tomo\\_haha](http://www.motherbird.net/~tomo_haha)



【制作スタッフ】音楽:ウォン・ウィンツァン/語り:上田早苗/音響効果:細見浩三/整音:小野潤二/ポストプロダクション:メディア21/プロデューサー:貞末麻哉子/監督・撮影・編集:西山正啓  
【制作協力】池森賢二(株式会社ファンケル代表取締役社長)/株式会社ファンケル/福岡教育大学 船津 建 研究室/SATOWAミュージック [撮影協力] 社会福祉法人 訪問の家(神奈川県横浜市栄区) 訪問の家保護者会/訪問の家後援会/ボランティアグループわかさの会/横浜市栄区桂台地域の皆さん/横浜市立港湾病院/神奈川県立衛生看護専門学校 附属病院/沖縄県読谷村障害児を守る父母の会  
【後援】横浜市栄区役所/横浜市栄区社会福祉協議会/横浜市栄区連合町内会/横浜市栄区民生委員児童委員協議会/横浜市栄区ボランティア連絡会 [製作] 朋の時間 製作委員会 [配給] 朋の時間 上映委員会

# 朋の時間 ~母たちの季節~

[http://www.motherbird.net/~tomo\\_haha](http://www.motherbird.net/~tomo_haha)

重度・重複障害というハンディをもつ人たちの地域生活を広げてきた通所施設「朋」が、母たちと歩んできた17年



「解説」  
 一九八六年、重症心身障害者と呼ばれる人たちが日中を通すためにつくられた日本で初めてのデイアクティビティ(日中活動)施設「訪問の家」が開設してから十七年が経ちます。それまで医療に守られ、入所施設のなかで生きていることが当たり前と考えられて暮らす人たちが、朋の開設によって家族と共に地域の中で暮らすことが可能になったのです。朋の取り組みは全国の同じ境遇にある家族にどれだけの勇気と希望を与えたか知れません。  
 ソーシャルワーク(社会福祉事業)は人と人との信頼関係を築くことから始まります。開所から十七年、社会福祉法人訪問の家が行うソーシャルワークは医療と福祉が連携しながら活動する朋を中心に、子どもから老人まで様々な障害を有する人々に対するケアサービスの地域拠点として活気に満ちています。この活気はどんな重い障害を持っていたても地域で暮らしていけるとい、ひとりひとりの可能性への信頼から生まれてくるものです。  
 「この子がいたらこんな人生しか送れなかった、ではなく、この子がいたらこうこそ、これほどの人生が送れたと言える人生を皆でつくろう」  
 朋の出発は「我が子」を愛する母親たちの強い仲間意識と、その家族を精一杯支えようとするソーシャルワーカー、教師の情熱でした。そして今、その志と共同作業の輪は地域社会に広がりを下ろしつつあります。  
 このドキュメンタリー「朋の時間~母たちの季節~」は「しごからきから吹いてくる風」や、最近作「梅香里」で知られる西山正啓監督が、訪問の家「朋」の取り組みと、家族、特に母と子の絆を三年半にわたり撮影、記録した、その第一回作品です。今回の製作には、社会福祉法人訪問の家の理事であり、朋との交流を深める中で、障害者を雇用する新会社でも設立したファンケルグループの代表である池森賢二氏の多大な協力を得ることが出来ました。  
 訪問の家「朋」が目指す福祉は、新しい価値の創造と、意識のバリアフリー化を私たちに投げかけています。

【アンケートより】● 暗い映画と想像してきましたが、大変明るい映画でした。生きるというのは、明るいことだと分かりました。私は生かされて今日があります。これからは良く生きて参ります。  
 ● お母さん達の素晴らしい愛と精神力で明るさに脱帽しました。● 人が人らしく生きていけるために、ほくらがやるのがたくさんあることに気づきました。たくさんのヒントがもらえました。  
 ● 「生きる」という事、いかに自分(達)が軟弱であったか知らされました。おたがい苦勞探しに日々明け暮れ嘆き合っていた(自分も含め)まわりにたくさんいます。お前は何を嘆いているんだ!! とつづけられた思いがいたしました。● お母さまとお子さまのきずな、手をかけて子供を育てること、健常児でも、もともっと心をこめて育てたらすてきな家族ができるのにと教えられました。  
 ● 生きるということの本質について改めて様々考えさせられました。多くの人に支えられながら日々を生きる障害者の親子が同じように多くの人々を支えているのだと感じました。気づくというのはとても難しいことです。● 子供にとってどういう生き方が一番良いのか、映画を見ながらいっしょに考えました。● 重い障害を持った子の母達の大変さがすぐ伝わってきて心がじんじんとしました。  
 ● 涙があふれました。「昨日はできたのに、どうして今日はできないの!」とお母さんが、怒ったり、叫んだりしたのことを、健康な子どもを持っている私たちにありがちな事と反省しました。  
 ● 自分自身が普段、知らず知らずのうちにまわっていた他者への差異。そこから生まれる偏見や差別というものを、一つ一つ取り去って、同じ「人間」という視点に立ち帰らせてくれる作品でした。

社会福祉法人 訪問の家とは <訪問の家 公式ホームページ <http://www4.big.or.jp/~houmon>>

1972(昭和47)年、横浜市南区中村町・市立中村小学校内に開設した『訪問学級』という重度・重複障害児の教育の場の活動をきっかけに、1979(昭和54)年、障害者地域作業所『訪問の家』を設立。1983(昭和58)年に障害者地域作業所『朋』を設立しました。  
 重い障害があっても青年期を豊かに暮らしたいという願いから、1985(昭和60)年に、『社会福祉法人訪問の家』の設立認可を受け、1986(昭和61)年、横浜市区区柱台の地に、重度障害者通所施設『朋』を開所しました。以来17年(2003年1月現在)、『社会福祉法人 訪問の家』は、7つの関連施設で、重い障害のある方たちや高齢の方たちの地域生活を支援するためさまざまな事業を展開しています。

この作品の配給上映に関するお問合せは ■ 朋の時間 上映委員会事務局 ■  
 〒1167-0023 東京都杉並区上草根1-29-16-403 TEL&FAX: 03-3397-1914  
 e-mail: office@motherbird.net

「朋の時間~母たちの季節~」の公式ホームページアドレス  
[http://www.motherbird.net/~tomo\\_haha](http://www.motherbird.net/~tomo_haha)

2/17・18 二夜連続でNHK教育テレビ「にんげんゆうゆう」も注目!! 西山正啓監督の最新作! 東京に先駆け公開!!

2003年 **3月8日(土)~3月21日(金)**  
**感動のモーニングロードショー!!**

連日 AM.10:30 より1回上映 (終映12:43)

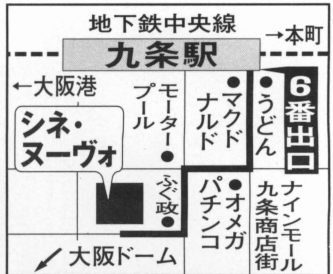
特別鑑賞券 1400円好評発売中!! 劇場窓口・チケットぴあ・ファミリーマートにて

当日一般 1700円 (朋<ペア>特別割引 = 当日2名様一組でご来場の場合3000円になります)  
 学 生 1400円、高・中・小・シニア・障害者手帳をお持ちの方 1000円

劇場窓口では、朋<ペア> チケットを特別上映協力券として、2000円の前売りいたしております。  
 (朋<ペア>) チケットは、切り離しておひとりでご利用いただくことはできません)

詳しくは劇場窓口 TEL: 06-6582-1416 までお問い合わせください。

「朋の時間~母たちの季節~」これからの全国公開予定については、朋の時間上映事務局 TEL: 03-3397-1914までお問合せ下さい  
 公式Webサイト [http://www.motherbird.net/~tomo\\_haha](http://www.motherbird.net/~tomo_haha) でも最新情報をチェックしていただくことができます



地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩3分

**シネ・ヌーヴォ**  
 TEL.06-6582-1416

<シネ・ヌーヴォのホームページ> アドレス  
<http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/>